

2012（平成24）年度

計 算 書 類

大阪市西区土佐堀1丁目5番6号
学校法人大阪YMCA

資金収支計算書

2012年4月1日から
2013年3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	952,300,000	895,018,895	57,281,105
手数料収入	8,000,000	9,253,085	△ 1,253,085
寄付金収入	1,000,000	5,195,650	△ 4,195,650
補助金収入	100,700,000	140,254,426	△ 39,554,426
資産運用収入	18,200,000	17,548,486	651,514
事業収入	295,400,000	296,278,218	△ 878,218
雑収入	300,000	843,310	△ 543,310
前受金収入	230,000,000	228,377,328	1,622,672
その他の収入	63,000,000	390,405,006	△ 327,405,006
資金収入調整勘定	△ 292,000,000	△ 365,720,681	73,720,681
前年度繰越支払資金	233,068,663	233,068,663	0
収入の部合計	1,609,968,663	1,850,522,386	△ 240,553,723
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,018,200,000	983,559,535	34,640,465
教育研究経費支出	259,900,000	263,336,934	△ 3,436,934
管理経費支出	124,200,000	345,872,508	△ 221,672,508
借入金等返済支出	10,600,000	10,360,000	240,000
設備関係支出	100,000	6,098,505	△ 5,998,505
資産運用支出	20,000,000	0	20,000,000
その他の支出	158,000,000	161,974,997	△ 3,974,997
資金支出調整勘定	△ 158,000,000	△ 158,345,364	345,364
次年度繰越支払資金	176,968,663	237,665,271	△ 60,696,608
支出の部合計	1,609,968,663	1,850,522,386	△ 240,553,723

消費収支計算書

2012年 4月 1日から
2013年 3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	952,300,000	895,018,895	57,281,105
手 数 料	8,000,000	9,253,085	△ 1,253,085
寄 付 金	1,000,000	5,195,650	△ 4,195,650
補 助 金	100,700,000	140,254,426	△ 39,554,426
資 産 運 用 収 入	18,200,000	17,548,486	651,514
事 業 収 入	295,400,000	296,278,218	△ 878,218
雑 収 入	300,000	843,310	△ 543,310
帰 属 収 入 合 計	1,375,900,000	1,364,392,070	11,507,930
基本金組入額合計	△ 50,000,000	△ 51,700,000	1,700,000
消費収入の部 合 計	1,325,900,000	1,312,692,070	13,207,930
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	1,018,200,000	949,121,844	69,078,156
教 育 研 究 経 費	343,680,000	351,333,517	△ 7,653,517
管 理 経 費	134,420,000	368,521,866	△ 234,101,866
借 入 金 等 利 息	600,000	360,000	240,000
消費支出の部 合 計	1,496,900,000	1,669,337,227	△ 172,437,227
翌年度繰越消費支出超過額	3,287,278,745	3,472,923,902	

貸借対照表

2013年3月31日

(単位:円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	4,087,925,911	4,403,572,504	△ 315,646,593
(有形固定資産)	(3,774,669,972)	(3,839,217,408)	△ 64,547,436
(その他の固定資産)	(313,255,939)	(564,355,096)	△ 251,099,157
流動資産	300,641,866	344,933,038	△ 44,291,172
資産の部合計	4,388,567,777	4,748,505,542	△ 359,937,765
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	467,605,880	0	467,605,880
流動負債	390,460,553	400,965,470	△ 10,504,917
負債の部合計	858,066,433	400,965,470	457,100,963
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金の部合計	7,003,425,246	6,951,725,246	51,700,000
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
消費収支差額の部合計	△ 3,472,923,902	△ 3,116,278,745	△ 356,645,157
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部, 基本金の部及び 消費収支差額の部合計	4,388,567,777	4,236,411,971	152,155,806

資金収支内訳表

2012年4月1日から
2013年3月31日まで

収入の部

学校法人 大阪YMCA

(単位 円)

科 目	部 門	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校			総 額
						専門課程	高等課程	計	
学生生徒等納付金収入		0	153,584,537	156,506,168	287,352,213	172,284,401	125,291,576	297,575,977	895,018,895
手数料収入		0	952,000	1,069,900	3,847,120	1,575,990	1,808,075	3,384,065	9,253,085
寄付金収入		0	1,333,080	190,000	0	0	3,672,570	3,672,570	5,195,650
補助金収入		0	0	14,317	63,785,672	6,258,237	70,196,200	76,454,437	140,254,426
資産運用収入		3,915,861	0	2,984,300	7,157,390	3,490,935	0	3,490,935	17,548,486
事業収入		1,135,000	10,468,305	143,125,052	277,600	106,307,601	34,964,660	141,272,261	296,278,218
雑収入		333,734	66,772	189,044	26,950	108,010	118,800	226,810	843,310
計		5,384,595	166,404,694	304,078,781	362,446,945	290,025,174	236,051,881	526,077,055	1,364,392,070

支出の部

(単位 円)

科 目	部 門	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校			総 額
						専門課程	高等課程	計	
人件費支出		125,074,027	122,820,138	206,402,892	212,817,115	177,790,813	138,654,550	316,445,363	983,559,535
教育研究経費支出		84,625	27,221,271	50,255,616	75,385,447	75,377,942	35,012,033	110,389,975	263,336,934
管理経費支出		38,079,106	216,050,519	17,239,473	29,270,477	28,979,238	16,253,695	45,232,933	345,872,508
借入金等返済支出		360,000	0	1,000,000	6,000,000	1,800,000	1,200,000	3,000,000	10,360,000
設備関係支出		0	0	0	0	3,110,238	2,988,267	6,098,505	6,098,505
計		163,597,758	366,091,928	274,897,981	323,473,039	287,058,231	194,108,545	481,166,776	1,609,227,482

消費収支内訳表

2012年4月1日から
2013年3月31日まで

消費収入の部

(単位 円)

部 門	学校法人	大阪YMCA <small>インターナショナルスクール</small>	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校	総 額
学生生徒等納付金	0	153,584,537	156,506,168	287,352,213	297,575,977	895,018,895
手数料	0	952,000	1,069,900	3,847,120	3,384,065	9,253,085
寄付金	0	1,333,080	190,000	0	3,672,570	5,195,650
補助金	0	0	14,317	63,785,672	76,454,437	140,254,426
資産運用収入	3,915,861	0	2,984,300	7,157,390	3,490,935	17,548,486
事業収入	1,135,000	10,468,305	143,125,052	277,600	141,272,261	296,278,218
雑収入	333,734	66,772	189,044	26,950	226,810	843,310
帰属収入合計	5,384,595	166,404,694	304,078,781	362,446,945	526,077,055	1,364,392,070
基本金組入額合計	0		0	0	△ 51,700,000	△ 51,700,000
消費収入の部合計	5,384,595	166,404,694	304,078,781	362,446,945	474,377,055	1,312,692,070

消費支出の部

(単位 円)

学校法人 大阪YMCA

部 門	学校法人	大阪YMCA <small>インターナショナルスクール</small>	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校	総 額
人件費	133,845,129	102,028,143	201,902,545	187,396,453	323,949,574	949,121,844
教育研究経費	84,625	37,221,271	56,833,498	101,174,026	156,020,097	351,333,517
管理経費	52,062,176	216,050,519	17,970,349	32,135,875	50,302,947	368,521,866
借入金等利息	360,000	0	0	0	0	360,000
消費支出の部合計	186,351,930	355,299,933	276,706,392	320,706,354	530,272,618	1,669,337,227

学校法人 大阪YMCA

財 産 目 録

(2013年3月31日現在 単位 円)

I 資産総額		4,388,567,777
	内 1 基本財産	3,595,071,431
	2 運用財産	793,496,346
II 負債総額		858,066,433
III 正味財産		3,530,501,344
[1] 資産		
1 基本財産		
(1) 土地		
計		1,088,072,424
(2) 建物		
計		2,499,191,925
(3) 構築物		
計		3
(4) 図書		
計		2,358,071
(5) 教具・校具及び備品		
計		888,330
(6) 電話加入権		
計		4,560,678
2 運用財産		
(1) 預金・現金		
ア 預金		
合計		230,814,886
イ 現金		6,850,385
(2) 不動産		
ア 土地		
計		2,000,000
イ 建物		
計		175,298,758
(3) 教具・校具及び備品		
計		6,860,461
(4) 敷金等		
計		705,890
(5) 未収入金		
計		48,616,585
(6) 前払金		
計		14,360,010
(7) 貸付金		
計		307,969,371
(8) 出資金		
計		20,000
[2] 負債		
1 固定負債		
(イ) 長期借入金		10,000,000
(ロ) 退職給与引当金		457,330,880
(ハ) 預り敷金		275,000
計		467,605,880
2 流動負債		
(イ) 短期借入金		10,000,000
(ロ) 前受金		228,377,328
(ハ) 未払金		101,243,860
(ニ) 預り金		50,839,365
計		390,460,553

平成24年度 事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

学校法人 大阪YMCA

学校法人大阪YMC A 平成24年度 事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

1 法人の概要

1 設置する学校・学部・学科等

(1) YMC A学院高等学校

通信制課程 (単位制) 総合学科

(2) 専修学校大阪YMC A予備校

文化教養一般課程 予備校本科

(3) 大阪YMC A学院

予備校本科、総合日本語学科、実用日本語学科

(4) 大阪YMC A国際専門学校

外国語専門課程

英米語学科、英米語専攻科

日本語学科2年コース、日本語学科1.5年コース

進学日本語学科

ビジネス専門課程

国際ホテル学科、国際ビジネス学科

国際高等課程

国際学科、表現・コミュニケーション学科

教育社会福祉専門課程

スポーツ&ウエルフェア学科、社会体育専攻科

(5) 大阪YMC Aインターナショナルスクール

幼稚部、初等部、中等部

2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(1) YMC A学院高等学校

課程	学 科	学則定員	入学者数	平成24.5.1現在
通信制課程 (単位制)	総合学科	1,750	163	938

(2) 専修学校大阪YMCA予備校 平成15年4月1日をもって休校中

課程	学科	学則定員	入学者数	平成24.5.1現在
文化教養 一般課程	予備校本科	370	0	0

(3) 大阪YMCA学院

学 科	学則定員	入学者数	平成24.5.1現在
予備校本科	200	0	0
総合日本語学科(1年コース)	40	25	25
総合日本語学科(1年半コース)	40		15
総合日本語学科(2年コース)	40	5	10
実用日本語学科(2年午前コース)	40	20	44
実用日本語学科(2年午後コース)	40	10	49
合 計	400	60	143

(4) 大阪YMCA国際専門学校

課程名	学科名	学則定員	入学者数	平成24.5.1現在
ビジネス専門課程	国際ホテル学科	80	29	61
	国際ビジネス学科	80	8	17
国際高等課程	国際学科	90	19	67
	表現・コミュニケーション学科	90	33	94
外国語専門課程	英米語学科	40	0	3
	英米語専攻科	25	6	6
	日本語学科2年コース	140	41	63
	日本語学科1.5年コース	100	0	33
	進学日本語学科	60	20	22
教育社会福祉 専門課程	スポーツ&ウエルフェア学科	80	0	0
	社会体育専攻科	20	0	0
小 計		805	156	366
ビジネス専門課程	国際ビジネス科II部	200	0	0
小 計		200	0	0
合 計		1,005	156	366

(5) 大阪YMCAインターナショナルスクール

学科	学則定員	入学者数	平成24.8.1現在
幼稚園部	60	9	32
初等部	125	11	48
中等部	60	1	18
合 計	245	21	98

3 役員・教職員の人数（平成24年5月1日現在）

(1) 役員

理事 8人（うち、理事長1人、常勤理事3人）

監事 3人（うち、常勤監事0人）

(2) 教員

YMCA学院高等学校

	専任			非常勤 講師	任期制 助手	合計
	教員	助手	計			
通信制課程	16	0	16	126	0	142

大阪YMCA学院

	専任			非常勤 講師	任期制 助手	合計
	教員	助手	計			
文化教養	6	0	6	32	0	38

大阪YMCA国際専門学校

	専任			非常勤 講師	任期制 助手	合計
	教員	助手	計			
ビジネス専門課程	4	0	4	16	0	20
国際高等課程	21	1	22	49	0	71
外国語専門課程	9	0	9	63	3	75
教育社会福祉専門課程	1	2	3	13	0	16
計	35	3	38	141	3	182

大阪YMCAインターナショナルスクール

	専任			非常勤 講師	任期制 助手	合計
	教員	助手	計			
文化教養	15	3	18	2	0	20

(3) 職員

区分	専任職員	兼務職員	合計
YMCA学院高等学校	10	3	13
大阪YMCA学院	6	0	6
大阪YMCA国際専門学校	13	4	17
大阪YMCAインターナショナルスクール	6	1	7
合計	35	8	43

2 事業の概要

1 事業の概況

時代に即した教育、時代と社会の変化を見通した教育を展開するため、学校法人大阪YMCAは大阪YMCAの他法人と連携して、長期的なVISIONを10年単位で策定しています。

そのVISION2020の2年目、またそれを踏まえた学校事業中期2ヵ年計画の2年目を迎えて、学校法人は時代が求める教育を探求するため、また現状の教育の課題に応えるため、学校の枠を超えた事業運営を進めました。すなわち、留学生を対象とした「留学生事業」、高校生世代を対象とした「高校生事業」、「語学国際事業」の3事業体制で教育内容の充実を図りました。さらに、類似事業を一本化することによる効率化の結果として、生徒数の増加、支出のスリム化に成功し、大幅な収支差改善となりましたが、予算の達成までには至りませんでした。

また、今まで公益財団法人で運営していたインターナショナルスクールは、もと中津南小学校への移転に伴い、各種学校認可を受け、8月より学校法人の運営管理となりました。

2 主な事業の目的・計画および進捗状況

(1) 高校生を対象とした諸事業の連携を強化し、生徒の持つ諸課題の解決を支援する

YMCA学院高等学校は、新入生対象にマイスペースコースを開設し、不登校経験のある生徒に対するきめ細かな指導を行いました。結果として新入生の増加と途中でドロップアウトする生徒が大幅に減少しました。また生徒の卒業後の進路保障への取り組みを積極的に進めるために始めた、YMCA予備校との連携は、さらに充実強化と効率化をはかりました。

連携校については、今まで別の通信制高校と連携していた横浜YMCAが、本年度よりYMCA学院高等学校の技能連携校として加入しました。

大阪YMCA国際専門学校高等課程は、国際学科と表現・コミュニケーション学科の一体的な運営を目指してガバナンスを一本化し、双方の特徴を活かしながらスケールメリットをいかす高等課程に向けて準備に着手しました。

表現・コミュニケーション学科では、サポートクラス（発達障害の児童を対象とした、週一回の学習サポート及びソーシャルスキルトレーニングのクラス）や総合教育センターとの連携をさらに強め、個々の生徒への高いカウンセリング機能や指導体制を持ち、生徒が安心して学校生活を送ることのできる環境の整備をさらに進めました。

マイスペクラスとサポートクラスのコラボレーションによる中学生J-IVYを2012年1月開設し、発達障がいや不登校に課題を持つ中学生にふさわしい学びの場が提供できることになり、各中学校とも連携を深めてまいりました。

国際学科は、今年度も大阪府の実践的英語教育支援校に選ばれ、英語教育の特色を推し進める環境がさらに整いました。

(2) 日本語学科とビジネス専門課程が協力し、留学生、特に東アジア地域の青年育成に取り組む

留学生を受入れている大阪YMCA国際専門学校語学・ビジネス専門課程、日本語学科、大阪YMCA学院日本語学科は、「留学生事業部」として一体的な運営を開始しました。また、同事業部内に企画広報室を設置し、多様化した留学生事業に対応したコース設定に変更するべく準備に着手しました。

政治的問題や円高の影響、欧米の留学生誘致や日本国内の大学への直接入学増加等により中国・韓国の募集は苦戦していますが、大阪YMCA学院実用日本語コースや大阪YMCA国際専門学校語学・ビジネス専門課程のインターンシップコースは評価を得て好調でした。

大阪YMCA国際専門学校 語学・ビジネス専門課程では、大阪府専修学校各種学校連合会が受託した文部科学省の留学生総合支援プランの委託事業を、他専門学校と共同で取り組み、4年目として産官学の大きなネットワークを形成する中、具体的な留学生の日本における就労支援を進めました。また、在阪の一流ホテルと協働して進めているホテルインターンシッププログラムは、日本人学生と共に東アジアの各国留学生の育成の場になりました。英米語専攻科や国際ビジネス科においては、教育内容のさらなる充実に向けて改善に着手しました。

大阪YMCA国際専門学校日本語学科では、提携している海外大学の受入れも好調に推移しており、韓国仁徳大学に加えて、世明大学からの学生の受入れを行いました。

(3) 日本人への外国語教育、外国人居住者・家族への日本語教育支援事業を進め、多文化社会の形成に寄与する

語学事業は教育の質をより向上させるために取り組んでいる指導体制の強化、カリキュラム、指導方法の再整備が効果を上げています。

大阪YMCA学院日本語学科は、実用的な日本語修得を目指す方を対象とした「実用日本語コース」が、午前コースも開設して2年目を迎え、留学生のほか、家族滞在ビザ、配偶者ビザ、宗教ビザなどで在阪している外国人受講者のニーズに大きく応えることができました。

インターナショナルスクールは、もと中津南小学校に移転し、施設環境が充実したことも影響し、児童数が増加しました。学校法人の各種学校の認可も受け、WASCの認定に加えて、IBの認定も受け、インターナショナルスクールとしての評価が大きく伸張した1年でした。

3 財務の概要

■ 平成24年度決算の概要

①【 資金収支計算書 】

(1) 収入の部

高等学校および国際専門学校 国際高等課程 国際学科では、授業料無償化の影響で生徒数が減り、収入の減少に大きな影響が出ました。また国際専門学校では、日本人学生数が大幅に減少しました。日本語学科も円高、震災の影響が残り、来日する留学生数が減少しました。国際高等課程 表現・コミュニケーション学科が健闘しましたが、全体として収入予算を達成することはできませんでした。

(2) 支出の部

生徒数減少に伴う減収に合わせ、事業経費や広報費等を抑えることに努め、ある程度の支出削減は出来ましたが、全体として収支差は減少し、予算達成はできませんでした。

②【 消費収支計算書 】

(1) 消費収入の部

高等学校および国際専門学校 国際高等課程 国際学科では、授業料無償化の影響で生徒数が減り、収入の減少に大きな影響が出ました。また国際専門学校では、日本人学生数が大幅に減少しました。日本語学科も円高、震災の影響が残り、来日する留学生数が減少しました。国際高等課程表現・コミュニケーション学科が健闘しましたが、全体として収入予算を達成することはできませんでした。

(2) 消費支出の部

生徒数減少に伴う減収に合わせ、事業経費や広報費等を抑えることに努め、ある程度の支出削減は出来ましたが、減価償却引当費等を生み出すことができず、全体として収支差はマイナス方向に拡大し、予算達成はできませんでした。

③【 貸借対照表 】

(1) 資産の部

固定資産は減価償却分と貸付金の減少があり、流動資産は前受金が減少しましたが、現金預金は若干増加しています。(前年度比359,937,765円)

(2) 負債の部

長期借入金返済は予算どおり執行しました。

(3) 基本金の部

空調設備の更新により、51,700,000円増加しました。

(4) 消費収支差額の部

今年度は収入が減少し、インターナショナルスクール引継に伴う負担により支出が増加しました。当年度消費支出超過額が△356,645,157円(予算額△171,000,000円)となりました。

4 今後の課題

昨今の厳しい経済状況の中、私立学校を取り巻く経営環境は大きく変化しています。そして、公立高等学校の授業料無償化はその変化をより大きなものにしていきます。安定的な学校経営を行うために、教育内容をさらに充実させ、すべての学生・生徒にとって魅力的な学校作りが必要です。

大阪YMCAは全体として広範囲な視点でVISION2020を策定し、時代と社会の課題の把握とそれらの解決に取り組むことに努めています。学校法人においても、社会全体とともに多様化する教育ニーズを把握し、そのニーズに対応するための変革に努めています。

中期計画では、今後もさらにその重要さが増加するものとして、2年間の重点項目に高校生年代と留学生及び在留外国人への学習支援をあげました。

いずれの場合においても、学生・生徒それぞれが多種多様な課題を持っており、その課題を解決するために、学校としても、さまざまな場面で学生・生徒を支援する取り組みのより一層の充実が求められています。

これからの教育界で、YMCAが対象としている多国籍な年齢層の学生・生徒にとって、何をなすべきかを考え、さらなるカリキュラムの充実と教職員のレベルアップによって、対応を継続して行っていきます。

監 査 報 告 書

2013年5月17日

学校法人 大阪YMCA

理事長 末 岡 祥 弘 殿

監 事

萩原 義明

監 事

文学 文男

監 事

水 口 美 里

私たちは、学校法人大阪YMCAの2012年度（2012年4月1日
より2013年3月31日まで）の財産の状況につき監査を行いました。
監査の結果、計算書類に記載された内容は、正確かつ妥当なものであり、
また、理事の業務執行は法令および寄付行為に従って、誠実に行われている
ものと認めます。

以 上